

令和3年度 第148回 奈良市清掃業務審議会 会議録概要版

開催日時	令和3年11月4日（木）15時00分から17時15分まで		
開催場所	奈良市環境清美工場 管理棟2階 見学者ホール		
出席者	委員	河野委員、作間委員、清水委員、徳野委員、中井委員、中岡委員、原田委員、福岡委員【計8人出席】（峯川委員、吉田委員、和田委員は欠席）	
	事務局	奥田部長、山口次長、矢倉参事（収集課長事務取扱） 廃棄物対策課：鈴木課長、山森課長補佐、川本係長、岩崎係長、平本、森、上田 まち美化推進課：中室課長 環境清美工場：今井場長 土地改良清美事務所：東所長 環境政策課：穴尾課長 クリーンセンター建設推進課：稲場課長	
開催形態	公開（傍聴人0名）	担当課	環境部 廃棄物対策課
議題 又は 案件	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選任 ・審議事項1 奈良市一般廃棄物処理基本計画の策定について ・報告事項1 奈良市災害廃棄物処理計画の改定について ・報告事項2 奈良市環境清美工場の焼却炉の停止について ・その他報告事項 		
決定又は 取りまとめ 事項	1 会長に原田委員を選任した。 2 奈良市一般廃棄物処理基本計画（案）及び今後の予定について説明を受け、意見を述べるとともに今後の手続きについて承認		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1. 会長の選任 委員の互選により、原田委員が会長に選任された。			
2. 審議事項1 奈良市一般廃棄物処理基本計画について 事務局から、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に策定を規定され、ごみ処理に関する令和4年度からの10年の計画を示す奈良市一般廃棄物処理基本計画（案）内容について説明があり、各委員からの意見を受け、今後、パブリックコメント手続き（募集期間：令和3年12月14日～令和4年1月14日を予定）を実施し、今年度末に開催予定の次回清掃業務審議会での審議を経て策定・公表となる旨が説明され、承認された。 （委員からの意見） <ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみ有料化実施の検討について、廃棄物処理コストや公平負担について検証し、適正化を図る方向での表現に改めてはどうか。 ・ごみ減量の実績をもっと強調し、成果の実感を持たせるべきである。 ・民間の経営能力、技術力等の活用について、方向を示す必要があり、利用促進の内容を記述するよう希望する。 ・市のごみ減量の取組みについて、もっと広報するべきである。 ・楽しく、取り組みやすいごみ減量事業を計画して欲しい。 など 			
3. 報告事項1 奈良市災害廃棄物処理計画の改定について 事務局から、奈良市災害廃棄物処理計画（案）概略及び改定へ向けての今後のスケジュールが説			

明された。（パブリックコメント手続きを経て、令和4年3月改定、公表）

- ・委員から、災害廃棄物となった太陽光パネルの処理について質問があり、事務局から、環境省が策定した「災害廃棄物対策指針」に従って処理することになるとの回答がなされた。
- ・委員から民間事業者との協定についていくつか質問があり、協定を締結している事業者は実績があり、ある程度の対応は可能であると思われるが、実際に起こってみないと分からない部分もあるため、他にも考えていきたいとの回答が事務局からなされた。
- ・委員から協力パートナーに「国際協力援助」や「日本赤十字社」等を加えて、広げておくべきであるとの意見があった。

3. 報告事項2 奈良市環境清美工場の焼却炉の停止について

事務局から、奈良市環境清美工場の焼却施設において、焼却後に生成される飛灰を加熱処理した「ばいじん処理物」から基準値を超えるダイオキシン類が検出されたため、焼却炉を一時停止し、処理設備の点検整備を行い、ばいじんの無害化を確認できたため、焼却炉を再稼働し、平常時のごみ処理に移行したことについて、経緯及び処理設備の不具合の詳細が説明された。また、焼却炉停止期間中に他市施設で区域外処理を行なったことについても報告がなされた。

- ・委員から、基準値を超えたばいじん処理物は最終的にはどのように処理したのかとの質問があり、事務局から、環境に影響が出ないよう別途処理が必要であり、専門業者と調整でき次第処理を行なうとの回答がなされた。
- ・委員から、早い段階で地元の自治連合会や市の自治連合会の会合で説明をしてもらったので、地域には早期に状況が伝わったのではないかとこの意見があった。

3 その他報告事項

○クリーンセンター建設計画の状況について

事務局から、計画の進捗状況について以下のとおり説明があった。

- ・環境アセスメントについて、建設候補地である七条地区において環境影響評価の第一段階である「計画段階配慮書」の手続きが完了した。
- ・ごみ処理広域化について、3市町での広域を目指していたが、勉強会から大和郡山市が離脱を公表した。奈良市としては、候補地での建設を念頭に、年度末まで大和郡山市と対話を行っていきたいと考えている。また、斑鳩町とは11月中に勉強会開催を予定している。
- ・奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の会議を10月に開催し、候補地選定の理由やごみ処理広域化に向けたこれまでの取組みを報告し、厳しい意見もいただいた。